

ペガちゃんフロ4「ならべて ならべて」(自然散策)

[小学1年・図画工作科]

ねらい	当所の活動プログラム「自然散策」と小学校学習指導要領（平成29年3月改）第1・2学年図画工作科の領域A表現（2）ア、B鑑賞（1）アと関連させたプログラムである。身の回りにある材料を並べたり、つないだり、積んだりするときにいろいろな形や色、触った感じなどに気付き、造形的な活動をするをねらいとしている。
概要	当所周辺で木の実や落ち葉を拾い、拾った物の特徴を生かしていろいろな並べ方を楽しむことができる。
よさ	○ たくさん落ちている落ち葉や木の実を使うことができるので、つくりたいもののイメージを膨らませることができる。 ○ 活動場所に危険箇所が少ないことから、子どもたちが身体を使って存分に活動することができる。 ○ 当所のクラフト体験を通して、公共施設の利用の仕方などを学ぶ機会となる。

- 校種 ・ 学年 小学校 第1学年
- 教 科 図画工作科
- 領 域 A表現（2）ア、B鑑賞（1）ア
- 展 開 (例)

過程	主な学習活動 ※（ ）…指導者	時間(分)	指導の手立て
導入	1 活動場所(つどいの広場周辺)でのきまりを知る。(引率者) 2 学習問題を確認する。(引率者)		○ 活動場所でのきまりを確認させる。 ○ 活動場所を確保することで、いろいろな並べ方を試して並べてできる形や色に気を付くことができるようにする。
展開	みのまわりにあるいろいろなざいりょうをさがして、ならべてみよう。 3 材料や形や色などの特徴を生かしながら、工夫して並べる活動を広げる。(引率者・自然の家職員) ・ 材料の形や色を見つけ、工夫して使う。 ・ 材料に触れ、どのように並べるのか考える。 ・ いろいろな材料を並べる活動を楽しむ。	10	○ 十分な量および種類の材料を用意することで、いろいろな並べ方を試せるようにする。 〈材料の例〉 ・ 落ち葉、どんぐり、小枝、流木などの準備
終末	4 材料や用具をどのように工夫して並べたかを友だちと伝え合う。(引率者) ならべると、ざいりょうがいろいろなものにみえてきたよ。 5 学習のまとめをする。(引率者)	60 15 5	○ 児童が並べながら見付けた形や意味にしっかり寄り添い、共感的に価値付けるように支援する。 ○ 子どものイメージや考えに寄り添い、思いに合うような材料の使い方を工夫している様子を紹介するようにする。 ○ 並べてできた形を何かに見立てたり、材料の形や色を生かして並べたりしたことに着目し、称賛の言葉かけをするようにする。 ○ 活動を通してつくりだした形の面白さや、その形をつくりだすためにいろいろな工夫をしたり考えたりすることを楽しんだことを称賛する。

- 事前に準備するもの
 (自然の家)： 自然物 (松ぼっくり、どんぐり、フウの実など)
 (学 校)： ビニル袋、軍手、水筒、デジタルカメラ